

豊島区の新庁舎問題を考える会 ニュース⑥

【連絡先】豊島区の新庁舎問題を考える連絡会
山口実（電話 3944-9881）
HPをつくりました
<http://www.toshima.ne.jp/hunesora/index.htm>

引きつづき運動継続を確認！！ 新庁舎問題を考える連絡会 全体会開かれる

12月20日午後六時半より開かれた全体会には、約30名の区民代表が集まり、この間の議会の特徴と運動の到達点をふまえ、引きつづき運動を継続してゆくことを確認しました。

渡辺議員 の報告

計画が妥当かどうか判断できない、と「反対」 区議会始まって以来の記名投票が行われる

会のはじめに渡辺み子議員（日本共産党）から議会の報告がありました。渡辺議員は、この間の総務委員会と本会議の質疑を通じて 管理規約案などがしめされないもとで、庁舎機能が担保されるか不明 2年間で37億円も収入見込が低下するなど資金計画があいまい 再開発組合の情報が公開されず、区民への情報提供が不十分であることが明らかになり、このような状況のもとでは「区の計画」が妥

当かどうか判断できないという立場から反対したことを報告しました。また、本会議では豊島区議会始まって以来初めて記名投票による採択が行われ、反対したのは日本共産党の議員6名と、無所属1議員、諸派1議員の計8名であったことも報告されました。



報告する渡辺議員
会議の様子

総括 と課題

6131名の署名などの運動が議会にも反映 全区民規模のわかりやすい宣伝が課題

この間の連絡会の運動の到達点については、短期間であったが署名6131名、ホームページ開設、ニュース発行（5号）、ポスター（日本共産党区議団）返信用封筒をつけて5千世帯への投げ込み、区の説明会への参加と発言などによって 区議会総務委員会の継続審議、本会議での記名投票、マスコミの報道（朝日、サンケ

イ）などの変化をつくってきた。しかし、全世帯への宣伝ができず、わかりやすい宣伝の面でも工夫が必要だったこと、町会その他への働きかけ等、全区民レベルへの浸透が不十分だったことなどが事務局より報告されました。

今後の運動方向

今後の方向として、以下の5項目が事務局として提案されました。

- 権利返還の閲覧・公表と分析、問題点の発表
- 区民に宣伝し来年四月の区議選・区長選で是非を求める
- 連絡会の体制と財政の強化
- 庁舎予定地での運動の強化
- 今後の区議会での論戦の取り組み



とりわけ、全区民対象の宣伝の成功（連絡会ニュースの新聞折りこみ等）と四月区議選・区長選にとりくむ、賛同人の募集（千円×300人）で活動を支える財政の確立が提起され、討論のあと全体で確認されました。

会場発言

議会の傍聴は初めてでしたが、自民議員の「将来は神のみぞ知る」発言にはア然とした、庁舎の説明はなかなか難しく、「合築でもいいじゃないか」という人もいる。区民住宅と思っている人が多い、広く知らせてゆく工夫が大切だと思う。

代替案がないと弱いのではないか。庁舎はお金をかけないでコンパクトでというのは共通している区民感情だ。台東区は上野の地下駐車場を300億円つぎこんだが、300台しか入らない。反対の人たちが住民投票を要求して否決されたが、外部監査制度を取り入れさせた。

区の庁舎だから、住宅は公社でしょうという人もいる。わかりやすい宣伝方法をかんがえるべき。

庁舎の上にマンション建てるのは反対。建て直しができないことや、権利委譲したら、全体としては再開発組合のものになってしまう。また、池袋の特殊性から、マンションは外国人が買う可能性が高い、その場合はトラブルが必至である。合築反対の一点で運動して欲しい、区民全部の運動に広げて欲しい。

定期借地はアメリカは99年であり、売り渡しと同然である。区民の財産を売り渡すやり方に反対していくべきだ。

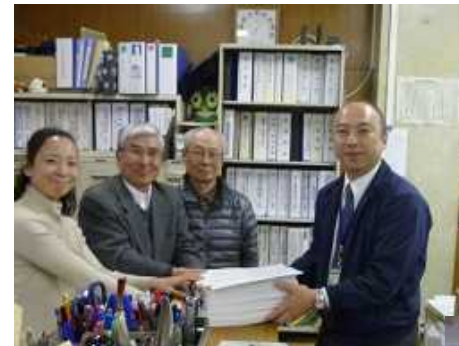
庁舎予定地周辺で区が説明会を1月に予定しているが、日照問題で新庁舎の影は豊島ヶ岡高校にまでおよぶ、区が自ら決めた「環境基本計画」を守らないということだ。付近の小学校では子供が増えて遊び場がなくなっている。CO2の削減でも区の目標値とは逆行しているなど、予定地での運動の強化が重要だ。



9月 連絡会「結成のつどい」



10月～11月 署名活動



11月 署名請願提出



12月 区議会総務委員会傍聴